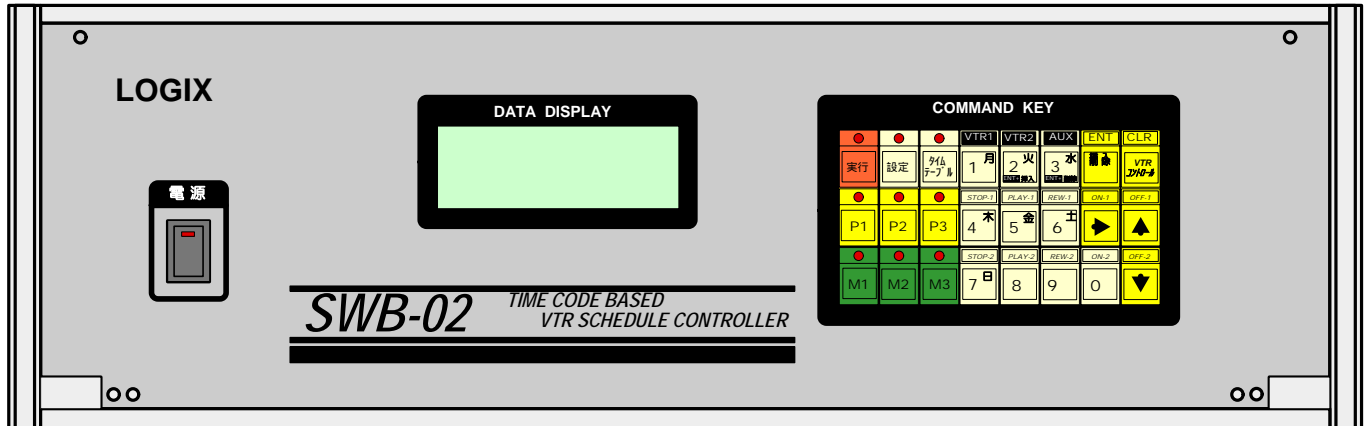


仕様書

ビデオ番組自動送出装置

SWB-02



本装置は、タイムコード制御のVTRを2台、AUX 1系統の入力をタイムテーブルに従って番組を自動送出する装置です。
VTR1台毎の送出は勿論の事、新しい機能として、1本に複数の番組を記録したテープを、番組ごとに送出できる「VTRバンク方式」により、仮想的にVTRの数を増やすことができ、きめの細かい送出パターンの設定が可能です。

ハードウェア仕様

AV入力 VTR 2系統 コンポジットビデオ(BNC),音声1K Ω -10dB(RCAピン)x2CH
AUX 1系統 コンポジットビデオ(BNC),音声1K Ω -10dB(RCAピン)x2CH

AV出力 PROGRAM 出力 1系統
コンポジットビデオ(BNC),音声1K Ω -10dB(RCAピン)x2CH
MONITOR 出力 1系統
コンポジットビデオ(BNC),音声1K Ω -10dB(RCAピン)x2CH

VTRリモート UVW-1200,1400 DSR-20 RS-232C (D-sub9P)
9Pポート機種(RS-422)はオプションのレベル変換ユニット使用

電源制御 DSR-20のみRS232Cコマンドで電源制御可能

校正時計入力 校正時計からの校正パルスを入力することで、内部の時計を校正
内部時計の精度は月差15秒 (接点入力) (D-sub9P)

LCDディスプレイ 20桁4行のLCDに入力データや、ステータスを表示

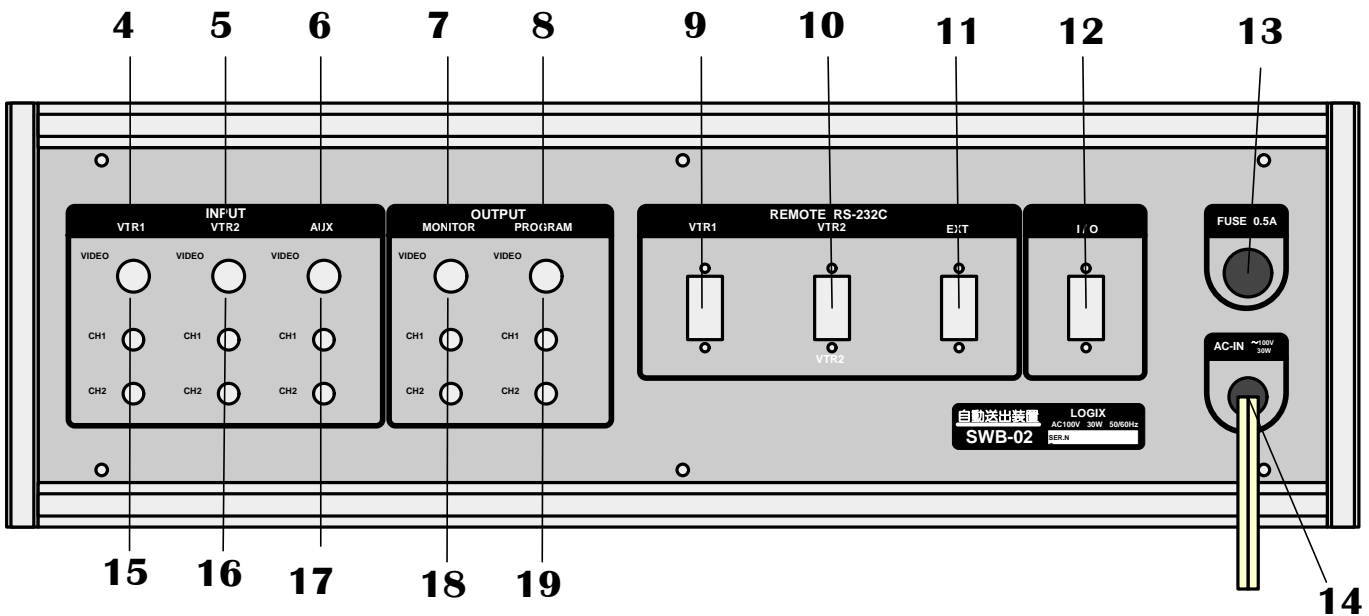
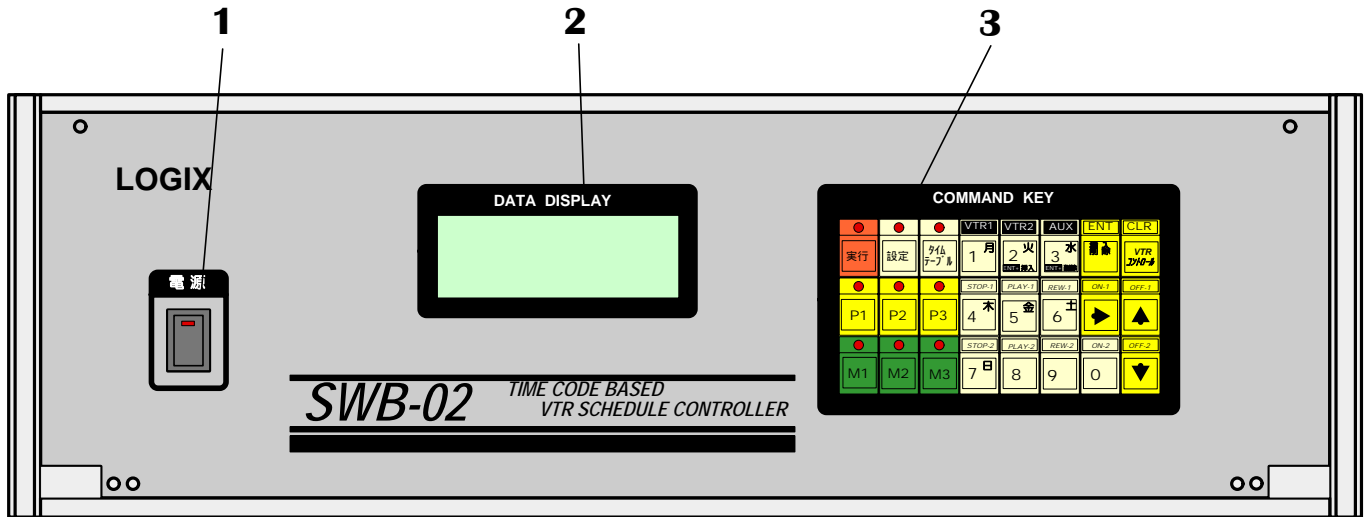
リモート 外部リモート (現在は、未対応)

サイズ 430 (W) *88 (H) *300 (D) 突起部含まず

重量 約5Kg

消費電力 AC100V 20W (本体の消費電力) FUSE : 0.5A125V使用

外観図



- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 電源スイッチ | 11 リモート(D-SUB9P) |
| 2 液晶ディスプレイ | 12 校正時計入力(D-SUB9P) |
| 3 データ入力キー | 13 FUSE(0.5A) |
| 4 VTR1ビデオ入力(BNC) | 14 電源入力 (AC100V) |
| 5 VTR2ビデオ入力(BNC) | 15 VTR1音声入力(RCA) |
| 6 AUXビデオ入力(BNC) | 16 VTR2音声入力(RCA) |
| 7 モニタービデオ出力(BNC) | 17 AUX音声入力(RCA) |
| 8 プログラムビデオ出力(BNC) | 18 モニター音声出力(RCA) |
| 9 VTR1リモート(D-SUB9P) | 19 プログラムビデオ出力(RCA) |
| 10 VTR2リモート(D-SUB9P) | |

タイムコードによる制御

VTRの制御はタイムコードによって行います。タイムコード機能のないVTR、タイムコードの記録されていないテープは使用できません。

番組のはじめのタイムコードと、終わりのタイムコードを設定することにより、頭出し動作や、送出時間の計算等を行います。

コントロールできるVTR

ソニー UVW-1200(1400),DSR-20 は RS-232Cでダイレクト接続可能

9Pコネクタの機種はオプションのレベル変換ユニットで9Pに変換します。

本装置のVTRリモートはUVW-1200(1400),DSR-20のRS232Cコネクタと、9Pコネクタに対応していますが、信号は、RS232Cレベルです。UVW-1200(1400),DSR-20にはダイレクト接続できますが、9PコネクタはRS-422ですから、信号のレベルと、伝送方式の変換が必要になるため、オプションの変換ユニットで対応します。ユニットはVTR 1台につき1個必要です。

変換ユニットサイズ：100(W)*40(H)*140(D)

VTRバンク

従来は、1本のテープに対して1番組の設定でしたので、2台のVTRでは、2番組しか送出することができませんでした。番組が多いときにはテープを編集して1本の番組として対応していました。

本装置は、VTRをタイムコードで制御しますので、テープの途中の任意の箇所を再生できます。また、1本のテープに対して9番組を設定できるようになりました。これにより、2台のVTRで、最大18番組の設定が可能となり、きめの細かい送出パターンを組むことができます。特に、CM送出等などには最適です。

VTRバンクは、VTRごとに9個のバンクがあり、VTR 1の場合はV1-1~V1-9、VTR 2の場合は V2-1~V2-9 の様に表現します。それぞれのバンクは番組のはじめのタイムコードと終わりのタイムコードデータです。たとえば、

V1-1 01:00:00:00 01:30:00:00

の様に設定します。このVTRバンクデータにより、頭出し動作や、番組の長さの計算を行います。

タイムテーブル

送出は、タイムテーブルに従って実行されます。

タイムテーブルに入力するデータは実行開始時刻、入力ソースです。

VTRに関しては、あらかじめ番組の始めと終わりのタイムコードの設定が必要です。

まず、最初に、スタートする曜日、時刻、出力するソース(VTR, AUX)を入力します。

出力するソースがVTRなら、出力される番組の長さは計算されていますので、自動的に次の開始時刻は表示されます。

AUXの場合は、タイムコードがないため番組の長さの計算ができませんので、次に実行する時刻を入力することになります。

タイムテーブルにはタイムコードを入力する必要がないので入力、変更はいたって簡単です。

タイムテーブルは100行迄入力できます。

内部のAVスイッチャーについて

内蔵のAVスイッチャーは3入力2出力構成です。

入力はVTR1,2、AUXの3系統。

出力は、プログラム出力、モニター出力の2系統です。

時計校正

内部の時計は、外部からの接点信号で校正することができます。

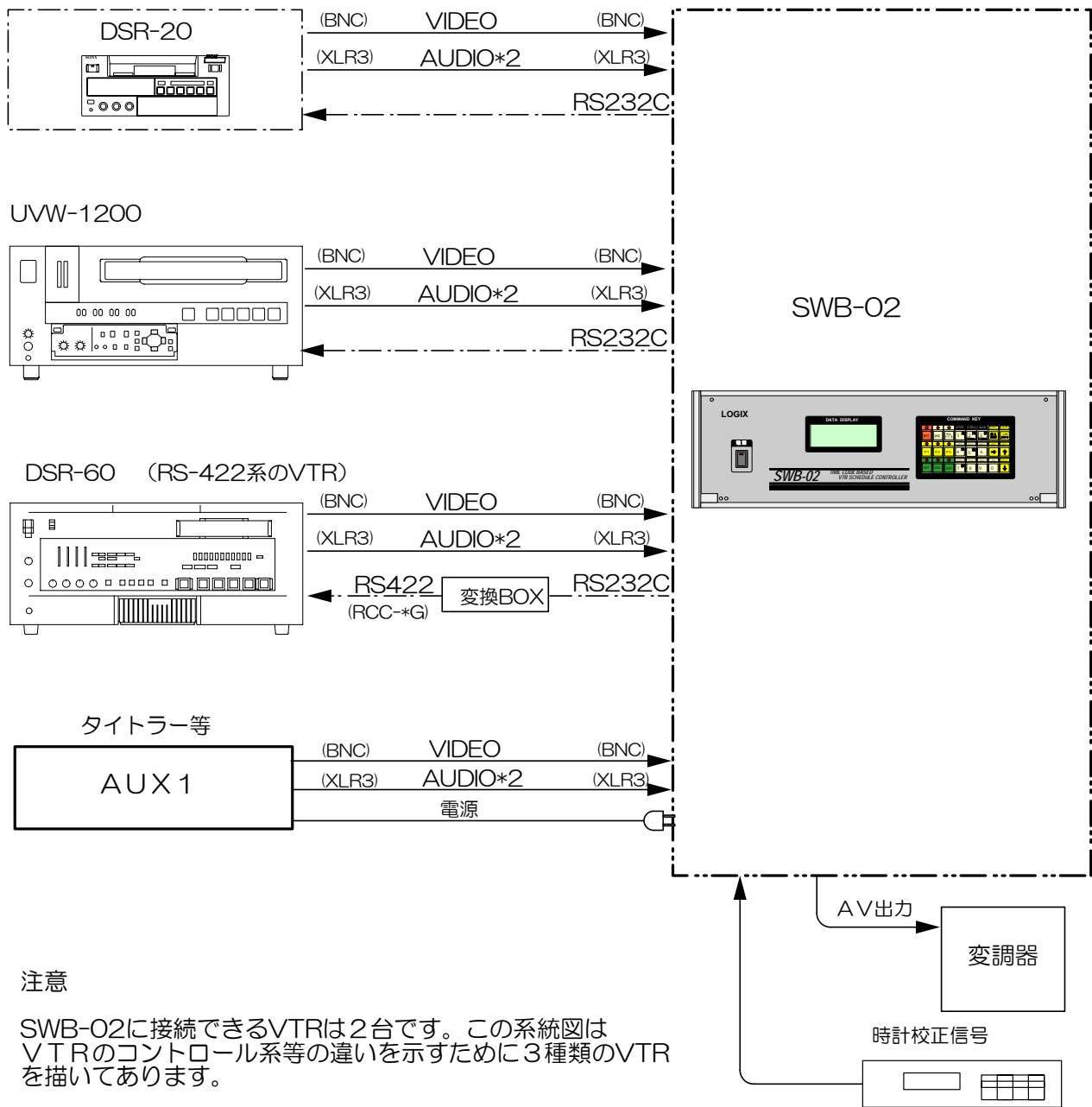
信号が入力されると30秒補正を行います。

30秒補正：0~29秒までは0秒に戻ります。

30~59秒までは1分進んで0秒になります。

この機能を使用するには外部に校正時計が必要です。

系統図



注意

SWB-02に接続できるVTRは2台です。この系統図はVTRのコントロール系等の違いを示すために3種類のVTRを描いてあります。

不明な点は下記までお問い合わせ下さい

(有) ロジックス 開発、製造元
担当 山本

電話 0956-25-3963

FAX 0956-25-3964

E-mail logix@lgx.co.jp

857-0055 長崎県佐世保市湊町2-15